



レビー小体型認知症 (DLB) 検定試験 関連書籍についてのご案内

レビー小体型認知症 (DLB) の発見者であり、第一人者でおられる横浜市立大学名誉教授・小阪憲司先生の監修により、適切な知識の習得を目的として、「レビー小体型認知症 (DLB) 検定試験」を平成30年度に実施する予定です。

只今、この試験に対する書籍「レビー小体型認知症の臨床と介護(仮)」を鋭意作成中です。

「レビー小体型認知症の臨床と介護 (仮)」

レビー小体型認知症を医学的に学び、原因や症状、同類の疾患であるパーキンソン病などを理解します。そして、ガイドラインや診断方法、治療方法について理解を深めます。また、レビー小体型認知症の人へどのような対応をすればよいのか、レビー小体型認知症の人に適切なケアを提供できるための知識の習得を目指します。

第1章	レビー小体型認知症とレビー小体病 (仮)
第2章	レビー小体型認知症の症状 (仮)
第3章	レビー小体型認知症の診断と治療 (仮)
第4章	レビー小体型認知症の介護 (仮)

執筆者のご紹介

小阪 憲司 (コサカ ケンジ)

横浜市立大学名誉教授・総合ケア推進協議会相談役医学博士・精神科医。

1939年、三重県生まれ。金沢大学医学部卒業。

名古屋大学医学部精神医学教室講師、横浜市立大学医学部精神医学講座教授、聖マリアンナ医学研究所所長、横浜ほうゆう病院院長などを経て、1976年以降の一連の研究にて、世界で初めてレビー小体型認知症について明らかにした。

横浜市立大学名誉教授、レビー小体型認知症研究会代表世話人、レビー小体型認知症サポートネットワーク (略称、DLBSN) 総顧問、若年認知症研究会代表世話人などを務める。

藤井 博子 (フジイ ヒロコ)

臨床心理士・レビー小体型認知症サポートネットワーク神奈川代表